

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第4回西東京市環境審議会
開催日時	令和5年10月11日(水) 午後6時から
開催場所	西東京市役所田無庁舎3階庁議室
出席者	<p>【委員】松本委員(◎)、矢守委員(○)、国眼委員、村田委員、赤司委員、高木委員、大上委員、田村委員 ※◎：会長、○：副会長</p> <p>【事務局】中澤環境保全課長、西川課長補佐(兼係長)、三城主査 【傍聴人】 1名 【欠席者】 泰江委員、大黒委員</p>
議 題	<p>1 開会 2 議事 (1) 令和5年度第3回西東京市環境審議会会議録(案)の確認について (2) 西東京市環境基本計画素案について (3) 第2回にしとうきょう環境アワードについて (4) その他 3 閉会</p>
会議資料の名称	<p>資料1 令和5年度第3回西東京市環境審議会会議録(案) 資料2 西東京市第3次環境基本計画 素案 資料3 第2回にしとうきょう環境アワード応募者一覧及び活動実績調書(個票) 【参考】にしとうきょう環境アワード(概要)</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p><1 開会></p> <p>○会 長： 定刻となったため、西東京市環境審議会を開催する。まず、事務局から本日の欠席委員の連絡、傍聴希望者、資料の確認の説明をお願いします。</p> <p>○事務局： 本日は、泰江委員から欠席の報告を受けている。委員10名中8名の参加となり、過半数を超える委員の出席があるので定足数に達しており、会議は成立していることの報告を申し上げる。また、今回傍聴希望者がいるが、傍聴を認めてもよいか。</p> <p>○会 長： 傍聴を認める。</p> <p>○会 長： 資料の確認をお願いします。</p> <p>○事務局： それでは、資料の確認をする。事前にメールにて送付している。送付したものは事務局の方で印刷し用意している。先ず資料1「令和5年度第3回西東京市環境審議会の会議録(案)」、資料2「西東京市第3次環境基本計画素案」、資料3「第2回にしとうきょう環境アワード応募者一覧及び</p>	

活動実績調書（個票）」。また参考として、「にしとうきょう環境アワード（概要）」である。

<2 議事>

(1) 令和5年度第3回西東京市環境審議会会議録（案）の確認について

○会 長： それでは、これより議題に入る。議題（1）令和5年度第3回西東京市環境審議会会議録（案）の確認について、事務局の説明を求める。

（事務局より、会議録について説明）

○会 長： 今、事務局より説明があったが、気になることや追加説明など、必要なものがあれば挙手をお願いする。

なければ会議録についてご承認いただいたということによろしいか。

異議なしと認め、会議録については承認した。

(2) 西東京市第3次環境基本計画 素案について

○会 長： それでは、議題（2）西東京市第3次環境基本計画 素案について、事務局より説明をお願いする。

（事務局より、今後のスケジュールと西東京市第3次環境基本計画素案について説明）

○会 長： それでは、事務局からの説明に対し、意見や質問等ある方は挙手をお願いする。

○委 員： 5ページに「計画の位置づけ」が整理されているが、「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」「気候変動適応計画」「生物多様性地域戦略」は「西東京市第3次環境基本計画」に包含されているということか。

○事務局： 「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」は18ページ、「気候変動適応計画」は25ページ、「生物多様性地域戦略」は61ページに包含されている。今気づいたが、51ページの「西東京市ゼロカーボンシティ戦略」も5ページの図に含む必要があった。

○委 員： 51ページに「本計画において重点的に進めるべき柱として位置づけられている・・・」とあるが、この計画で「位置づけた」のではないのか。

○事務局： おっしゃる通りである。訂正させていただく。

○委 員： あと、51ページの図の左に「第3次環境基本計画」と()で「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」と書いてあるが同じものということか。

○事務局： 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）は環境基本計画の一部ということである。

○委 員： 区域施策編と事務事業編をうけて戦略が作られたのか。

○事務局： おっしゃる通りである。この2つの計画をうけ、より具体的な取組を示しているのが戦略である。

- 委員： 環境基本計画の中に包含されているというのが、5ページの「計画の位置づけ」の図と51ページの図では独立しているのか重複しているのか包含関係が分からない。
- 事務局： 誤解をうむ表現があるかと思うので図の見直しをする。
- 委員： 独立か従属かの関係性が分かるような図があると良いと思う。あと、中身は方針的な事が書いてあるだけなので、具体的にどこで何をするのかが分かる目玉政策が入ってくると分かりやすいのではないか。そういうものは何かないのか。
- 事務局： 基本方針1で列挙している取組をより具体化した戦略を現在表現しており、今の時点ではさらに具体化したものを示す予定はない。
- 委員： 分かった。
- 委員： 5ページの「計画の位置づけ」の基本計画の3つと、16ページの基本方針はどのような関係があるのか。
- 事務局： 関連性という意味では、「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」は方針1と脱炭素の関係で基本方針2、3も関連してくる。「気候変動適応計画」については方針1の中の基本施策「2 気候変動への適応」の部分が、「生物多様性地域戦略」は方針3が対応している。また、「ゼロカーボンシティ戦略」については主に方針1と一部関連する方針2、3が繋がっていく。
- 委員： 「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」と「気候変動適応計画」は基本方針1、「生物多様性地域戦略」は基本方針3に対応していると理解していたがそうではないのか。
- 事務局： 基本方針3の施策5に「みどりや水辺環境の保全・創出・活用」とあり、「みどり」はCO₂の吸収源でもあるため「区域施策」に関連しているという認識である。
- 委員： 基本方針2の取組は戦略に値するものなのか。
- 事務局： 市では一般廃棄物処理計画という具体的な計画があり、そちらで示している。
- 委員： それは我々が議論する範囲ではないということか。
- 事務局： 今回は環境基本計画というところで、この計画書の中にのっとなっているものだけで審議していただいている。
- 委員： その一般廃棄物処理計画の取組を、こちらの計画に入れてはいけないのか。
- 事務局： 5ページの「計画の位置づけ」で「一般廃棄物処理基本計画」も整合・連携という形で組んでいるが、この計画は「環境基本計画」の下位計画になる。なので、廃棄物処理に関するより具体的な細かい記載は「一般廃棄物処理基本計画」で記載されるべきだという認識である。

- 委員：基本方針2を「一般廃棄物処理基本計画」にまかせてもよいが、こちらでも循環型社会についてどう位置づけるのか話した方がよいのではないかと。考え方として基本方針2はなくてもよいということか。
- 事務局：いや、必要である。「一般廃棄物処理基本計画」に任せるが結果の報告がほしい。
- ごみ減量推進課でも「一般廃棄物処理基本計画」の委員会があり議論している。これからの具体的な取組の報告を受けて、こちらの審議会で話すことは可能であると思う。ただ今までの基本計画の取組の進捗状況は報告しており、実際は被ってくるのではないかと思う。
- 委員：基本方針2は任せているが、基本方針1から3の3本柱を「環境基本計画」でやっていると言っはいけないのか。
- 事務局：市として環境基本計画は全体を拘束するものなので、重点プロジェクトとして位置づけていないからといって軽視するという意図はない。
- 委員：分かった。
- 会長：その他いかがか。
- 委員：委員がおっしゃったが、5ページの「計画の位置づけ」を文章として示した方が分かりやすくなると思う。9ページも「基本理念」の中の「保全・回復・創造」の重要なキーワードの説明がなく、見栄えはいいが内容が薄い。できればイラストについて文章で説明がほしい。
- 委員：委員の意見に関連する事だが、9ページに「創造」とあるが、上の文章に「創造」という言葉が出てこず、現状維持をしましょう。という文章で終わっている。基本理念だからすぐに変更できないというお話だったが、もう少し夢があってもいいのではないかと。
- 会長：その他いかがか。
- 委員：目標値をどのように決めているかの根拠となるものをどこかに入れてほしい。この冊子の通りいけば目標を達成できるのか、もしくは目標値を実現しないと2050年の国の目標に到達できないのかが読んでいて分からない。目標値は何の為にあり、どのような根拠があるのか。
- 事務局：これは57ページのロードマップに示している。2030年に46%減、2050年には0という目標のため、各部門で減らさないといけないCO₂の量を緑の矢印で示している。
- 委員：削減量は国が指定しているのか。
- 事務局：国が指定している。
- 委員：この計画をすれば46%減に到達するということか。
- 事務局：到達するために頑張るということである。
- 委員：緑色の矢印が2030年よりはみ出している。

- 事務局：ズレである。
- 委員：47ページの「環境学習事業数」だが、目標値を良くすれば実現した達成感はあるが、事業数を増やしたからいいのか、数は減らしてでも内容を充実するかの評価も大事であると思う。数を増やせば増やすほど最終的に自分の首を絞めるような気がする。事業数140とあるが、これは実現可能な数字なのか。
- 事務局：事業数は過去の計画で出した目標値で、目標に達しておらず継続した数値となっている。参加者数は、仮に140事業だったら3500人見込めるだろうと比例的な意味で数値を出している。
- 委員：参加者数は増えた方が良くと思う。ただ、事業数が増えればそれに応じて参加者が増えるということはない気がするので、内容を充実させたほうが良いのではないかと思う。
- 事務局：内容の充実も大事であるが、ここで言っている「指標、目標値」に内容の充実まではなかなか指標として出しづらい。単純だが、事業数が多いほど参加の機会を選択する範囲が増えるので、事業数は多く皆さんに選択してもらえよう目指していきたいと考えている。
- 委員：分かった。
- 会長：その他いかがか。
- 委員：「環境未来像2050 みどり・生きもの・ひと 多様な環が引き継がれた持続可能なまち 西東京」という標語だが、夢がないような気がする。
- 委員：パブリックコメントの時この表現でよいかの評価はできるのか。
- 事務局：パブリックコメントの中で何かの意見が出てくる可能性はある。
- 委員：市民みんなで選んだタイトルの方がいいかもしれない。パブリックコメントでタイトルについて積極的に意見してもらったらいいのではないか。
- 委員：いい案だと思う。市民から募ってもいいと思う。
- 事務局：標語の部分だけを特化して意見をいただくことは今は考えていない。あくまで計画一体でパブリックコメントを出した時に意見等があれば、そこについては検討させていただくという風に考えている。
- 委員：しかし、意見を出す時は案を見て意見を出すわけで、関係のない案を出すことは考えられない。市民が参加しているということを示すにはいい案だと思う。
- 事務局：事務局としては、基本方針1～4を考えた時に「環境未来像2050」がいいと提案させていただいており、これに異論があればパブリックコメントで積極的な意見が出るのではないかと考えている。
- 委員：分かった。
- 会長：その他いかがか。

○事務局： 本日も貴重な意見を多々いただいた。今日いただいた意見を踏まえ修正したものをメールで後日送るので、審議会外であるが意見をいただければと思う。

○会 長： それでは、次の議題に行かせていただいてよろしいか。

(3) 第2回にしとうきょう環境アワードについて

○会 長： それでは、議題（3）第2回にしとうきょう環境アワードについて、事務局より説明をお願いします。

（事務局より、第2回にしとうきょう環境アワードについて説明）

○事務局： 表彰の選考に移りたいと思う。選考はこの審議会においてお願いするものであるが、事務局の案としては、選考の基準からして不適合なものはなく全13件を表彰させていただきたいと考えている。また、No.13の田無第一中学校 II学級に企画賞を、その他12件には奨励賞と考えている。委員のみなさんの意見を伺いたくよろしく願います。

○会 長： それでは、事務局の案に対し、意見や質問等ある方は挙手をお願いします。

○委 員： これは公開するのか。

○事務局： 去年第一回を開催し、翌年度に活動を紹介する場をHP等に載せようと考えていたが、今現在できていない。今後どこかの機会で今回の分も含め公開を考えている。

○委 員： ぜひ公開してほしい。活動を広く知ってもらうのは必要だし、活動している人達も刺激になる。検討してほしい。
去年に比べ応募者は少なくなったのか。

○事務局： 全体数としては、去年は33件、今年は13件と数的には減っている。恐らく中には、同じ取組を継続しているだけと謙遜して辞退されている所があると考えており、来年以降は、一度表彰を受けても取組を継続する事が大切だと示し、多数応募していただけるよう努めていこうと考えている。

○委 員： 去年出して今年出している所もあるのか。

○事務局： ある。同じ取組でも多少進化している場合や、同じだけど具体的にやっている取組が違っている。

○委 員： ぜひこのアワードは継続したい。

○委 員： 賞の中に〇年連続などの賞を入れてもいいのではないかな。そうすれば単純に参加するだけでなく、毎年同じ取組だからと謙遜する所もなくなる。何年も継続する事に価値が生まれるのではないかなと思う。

○事務局： 言葉は悪いかもしれないが、マンネリ化しないように努める。

○委 員： 環境アワードの周知方法は、HP以外に何かあるのか。

○事務局： 学校の方は、校長会で応募を呼びかけたり、メールを2回程送り知らせてい

る。

- 委員： 小中学校だけでなく、世界で活動したり、日本の地方でリサイクルに取り組んでいる高校のグループがあるが、西東京市の高校はアワードを知っているのか。
- 事務局： 高校に対してアワードをしていると直接のアプローチはしてなく、あくまで、市報とHP等で周知しているに限るので、高校を対象にした部分については今後検討していきたい。
- 委員： 高校の活動は、小中学校とは違って行動力もあり戦力になると思う。
- 事務局： 高校生というところから周知は難しいが、継続は力なりということで、今の小中学生が高校生になって発想も広がり、アワードを継続することでもっと参加者が広がっていくのではないかと思う。
- 委員： 募集するのにHPを使っていることだが、HPだと興味ある人が情報を取りに行くだけで、興味がない人が発見みたいに知っていくというのが薄い。散歩の途中、掲示板に貼ってあるアワードのチラシを見たが、私は審議会に参加しているから目にとまった。応募が学校メインになっているのは情報を貰って知っているだけで、もっと一般の人が気づくよう「環境アワード」の言葉がもっと浸透していくといいかと思う。
- 事務局： プッシュ型でお知らせするのが大切だと認識している。市の方でプッシュ型だと公式ラインがあるが、プッシュの仕方は来年に向けて考えていこうと思う。
- 委員： 市報にも出ているのではないか。
- 事務局： 市報にも出ているが、掲示板と同じで見ると見るという形になる。なのでプッシュ型でお知らせするというのは大切だと思う。
- 委員： インフルエンサーみたいな人達を巻き込んで戦略的にやらないと爆発的には広がらないと思う。ただ直接的な知り合いがいないと難しい。
- 委員： 応募が20件減ってしまったのは寂しい。
- 委員： これは基本方針の4に相当すると思うので、ぜひ続けていきたいと思う。
- 委員： 小学校が持っているSNSはあるのか。
- 委員： 作っていない。
- 委員： 委員がおっしゃった通り、「環境アワード」という言葉が浸透するには誰かがつぶやき連動していかないと誰も触れる機会がない気がするので、個々の小中学校がSNSを持って呟くとこちらでもアクションを取りやすい。個々の小中学校から発信するのはHPに載せるくらいなのか。
- 委員： そうである。保護者しか見ない。
- 会長： 谷戸小学校に環境学習に行った時、先生からフェイスブックに載せてもよいかと聞かれたが、それは先生個人でやっているのか。

- 委員： 個人でやっている。
- 委員： 学校でフェイスブックとかしてくれると、少しは広がる。もしくは、市のSNSで小学校等の活動や子供さんの声を投稿してくれるとこちらも対応できるし、戦略的に広がるのではないか。
- 事務局： 本来は受賞者さんに取材し、その記事を載せるべきだと思うが、昨年度はできていないので、なるべく早く取材し実現したいと思っている。
- 委員： アワードで賞を取る。と言うのが伝われば参加者も増えるのではないか。
- 委員： 応募した13団体の中に事業者が1つしかないが、事業者が取組を始め継続するところがあれば、簡単には引き下がらないだろうと思うので、企業に対してアプローチをするのがいいのではないかと思う。
- 会長： その他いかがか。
発信の仕方は今後の課題として事務局の方で検討していただくとして、表彰について事務局の方から案が出たが、そちらの方で意見はあるか。
- 委員： 異論なし。
- 会長： 受賞については事務局案をそのまま適応させていただく。
- 委員： もらった賞はどうしているのか。
- 会長： 谷戸小学校は校長室に飾ってあった。
- 委員： 廊下の方がよいが。
- 委員： 生徒はそれに気づいているのか。
- 委員： 表彰されたら朝礼で校長から言葉がある。
- 委員： 継続させるために、貰う賞の盾の色を銅から銀、金へと変えていくのもいいのではないか。一目で違いが分かるし、興味のない子にも何かやっているのか、と興味がわかせることができるのではないかと思う。
- 会長： それでは、次の議題に行かせていただいてよろしいか。

(4) その他

- 会長： 議題(4)その他について、事務局より報告事項あればお願いします。
- 事務局： 次回、令和5年度第5回の審議会の日程を確認させていただく。今回は第3次環境基本計画 パブリックコメント終了後になるので「パブリックコメント後の最終確認について」と「令和4年度の西東京市第2次環境基本計画後期計画の施策の進捗について」他を予定している。候補日としては来年1月24日(水)でお願いしたいと思うのでお諮りをお願いします。
- 会長： 回りの審議会の日程について2024年1月24日(水)18時からの案が出ているが、皆様のご都合はどうか。
- 委員： 参加できない。
- 事務局： 候補日はあくまでも事務局からの提案なので皆さんで都合が付く日であれ

ばよい。

○委員： 1月31日（水）なら大丈夫である。

○会長： そこまでずらして大丈夫なのか。

○事務局： 2月の上旬に第5回審議会の後、市長に答申をしたいと考えており、答申までの日数が31日に審議会をすると厳しいと思っている。

○委員： 1月17日（水）でも頑張れば大丈夫である。

○会長： 1月17日（水）でも大丈夫である。部屋は大丈夫か。

○事務局： 1月17日（水）で場所の調整をさせていただき、もし難しければ1月24日（水）で調整させていただく。今日は17日と24日の両日のご都合を空けていただければと思うのでよろしくお願いしたい。

最後に皆さんから連絡事項、報告事項あればお願いする。

<3 開会>

○会長： これにて本日の環境審議会を終了とする。

以上